

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 29. 8. 30 第 193 回国会第 10 号（閉会中審査）

8 月 30 日（水）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件（北朝鮮による弾道ミサイル発射について）

- ・北朝鮮による弾道ミサイル発射について、小野寺防衛大臣から報告を聴取しました。
- ・河野外務大臣、小野寺防衛大臣、西村内閣官房副長官、佐藤外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・寺田稔君外 6 名（自民、民進、公明、共産、維新、社民）から提出された「北朝鮮による弾道ミサイル発射に抗議する決議案」について、提出者寺田稔君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決めました。
（賛成—自民、民進、公明、共産、維新、社民）
- ・小野寺防衛大臣から発言がありました。

（質疑者及び主な質疑内容）

青 柳 陽一郎君（民進）

- ・昨 29 日に大分空港に緊急着陸した米軍オスプレイの状況確認はどこまで進んでいるか、また、これについて米国への申入れを行っているのか伺いたい。
- ・金正恩政権における同氏の指導力や北朝鮮の経済状況、ミサイル開発に係るコスト及び人材育成方法等について、河野外務大臣がどのように分析しているのか伺いたい。
- ・日米安全保障協議委員会（「2+2」閣僚会合）において、小野寺防衛大臣が米側に「イージス・アショアの導入について協力を要請し、「イージス・アショアを中心とした新たなアセットが必要だ」と発言したのは、新たな防衛構想があるからなのか、同大臣の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・米国と北朝鮮の軍事的恫喝の応酬が軍事衝突に発展し、おびたしい犠牲者を生む事態が発生することは絶対に回避しなければならないと考えるが、河野外務大臣の認識を伺いたい。
- ・米韓を含めた国際社会が対話の動きを模索する中、日本政府が対話を求めるメッセージを示した事実はあるかどうか、河野外務大臣に伺いたい。
- ・8 月 5 日に発生した豪州における米軍オスプレイの墜落事故に関して、米国から事故原因についての説明がないにもかかわらず、日本国内での飛行を容認した理由について、政府に伺いたい。

熊 田 裕 通君（自民）

- ・北朝鮮がミサイルを発射した際に、自衛隊がとった対処について、事実関係を伺いたい。

- ・北朝鮮による弾道ミサイル発射の脅威について、防衛省の認識を伺いたい。
- ・ミサイルに対する防衛能力を早急に高めるべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

佐 藤 茂 樹君（公明）

- ・北朝鮮から発射されたミサイルが 3 つに分離した可能性について、現時点での情報収集の状況及び分析結果について、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・北朝鮮のミサイルが上空を通過した当事国として、北朝鮮に更なる追加制裁を推進すべきと考えるが、現時点での国連安全保障理事会の状況及び日本の立場について、佐藤外務副大臣に伺いたい。
- ・防災行政無線の不作動などにより、Jアラートのトラブルが発生したが、トラブルの把握状況及び今後の対策について、防衛省に伺いたい。

後 藤 祐 一君（民進）

- ・昨 29 日の北朝鮮による弾道ミサイル発射への対処として、北朝鮮への石油禁輸を含む更なる厳しい措置を国連安保理の制裁決議として実施していくべきと考えるが、それらに慎重な姿勢を示す中国やロシアをどのように説得していくのか、外務省の見解を伺いたい。
- ・発射された弾道ミサイルが日本の上空を通過した場合、国民が過剰な対応を取ることがないように、上空を通過する見通しが立った時点で Jアラートによって国民に情報を提供すべきと考えるが、西村内閣官房副長官の見解を伺いたい。
- ・8 月 10 日の本委員会で、小野寺防衛大臣は、北朝鮮が弾道ミサイルをグアムに向けて発射した場合には、存立

危機事態と認定して迎撃できる可能性がないとは言えない旨述べているが、ハワイや米国本土に向けてミサイルが発射された場合も同様と考えてよいか、同大臣の見解を伺いたい。

足立康史君（維新）

- ・我が国の弾道ミサイル防衛体制はイージス艦による上層での迎撃とペトリオットPAC-3による下層での迎撃の二層になっているが、このうちイージス艦による上層での迎撃に際し、我が国に飛来する弾道ミサイルを撃ち漏らすことはないか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・我が国の弾道ミサイル防衛体制に穴が開かないよう、政府は万全の備えをすべきと考えるが、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・我が国上空を通過するような弾道ミサイルを北朝鮮に撃たれないよう、米国や韓国と同様、北朝鮮が怯むような

強いメッセージを送る必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。

照屋寛徳君（社民）

- ・北朝鮮が発射した弾道ミサイルが3つに分離した原因をどのように分析しているのか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮が発射した弾道ミサイルが落下するまでの14分間のいつの時点で迎撃しないと判断したのか、また、迎撃をしないと最終的に判断したのは誰か、防衛省の見解を伺いたい。
- ・平和的な方法で朝鮮半島の検証可能な非核化を約束している2005年の6か国共同声明を前進させるため、6か国協議の再開に全力を挙げるよう努力すべきと考えるが、河野外務大臣の決意を伺いたい。